

【表紙】

【提出書類】

四半期報告書

【根拠条文】

E00752)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次

第130期
第3 E00752)

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および関係会社237社）が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主な関係会社の異動は次のとおりである。

（情報電子化学）

平成23年6月に、SSLM株式会社（連結子会社）を設立した。

崑塚

第 2 【事業の状況】

E00752)

(情報電子化学)

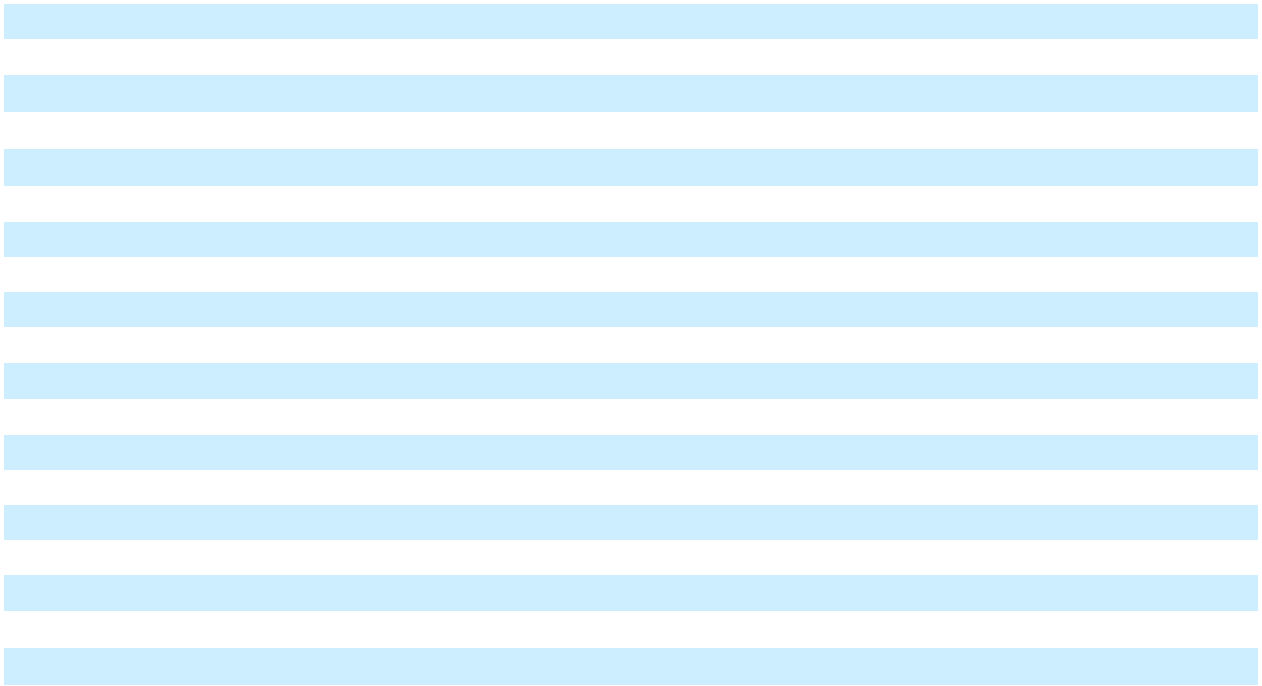
液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは、スマートフォンやタブレットPC用途での需要拡大や、台湾における生産能力増強により、出荷が増加したが、カラーフィルターの出荷は減少した。偏光フィルム、カラーフィルターともに販売価格が下落したことに加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もあった。この結果、売上高は前年同四半期に比べ265億円減少し2,211億円となり、営業利益は前年同四

E00752)

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

E00752)

E00752)



【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万)



The table area contains six horizontal light blue bars, indicating that the financial data for this period has been redacted.

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はない。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

(連結の範囲の醸 B 鏡

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年12月31日)

(1) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用している。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

報告セグメント						その他 (注)	合計
基礎化学	石油化学	精密化学	情報電子 化学	農業化学	医		

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額 17,873百万円には、セグメント間取引消去 248百万円、各報告セグメントに配

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第 3 四半期連結累計期間	
	自	平成22年 4 月 1 日
	至	平成22年12月31日

2 【その他】
(訴訟)

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

E00752)